

# 備えあれば憂いなし



令和2年 6月22日(月)

第 3 号 (不定期)

文責 藤田 篤志

## J-アラート発令時の対応について

テレビや新聞で報道されているので知っている人も多いと思いますが、現在、北朝鮮と韓国（南北）の関係が悪化してきています。このままでは、北朝鮮が、次にアメリカに対して、挑発的行動（弾道ミサイル発射）をとることも考えられます。

平成29年8月29日午前5時59分にも北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、日本上空を通過して太平洋側に着弾したことがありました。その時は、発射と同時に、全国瞬時警報システム（J-アラート）が発令され、北海道や東北、北関東の全国12道府県の住民に避難が呼びかけられました。



北朝鮮から発射された弾道ミサイル

### 「備えあれば，憂いなし」

この通信の題名にもなっているこのことわざは「普段から準備をしておけば、いざというとき何も心配がないということ。」という意味で災害に対する心構えとしてよく使われています。

平成29年に市教委からJ-アラート発令時の対応について以下のとおり、指示がありました。自他の命を守るために、ご確認をお願いいたします。

時間帯		生徒の動き
①	自宅にいる場合	・保護者の責任の下，学校から連絡があるまで自宅で待機する。
②	学校にいる場合 (授業時，部活動時)	・学校で待機する。 保護者が迎えに来た際も，待機解除までは，学校で待機する。
③	登・下校時の場合	・自宅または学校のいずれか近い方に行く。 または，通学路途中のできるだけ堅牢な建物に一時避難する。 最終的には，登校時は学校へ行く。 下校時は自宅に戻り，出歩かないこととする。
④	校外で活動中の場合 (部活の大会等)	・堅牢な建物に避難する。 ・引率の先生や顧問の先生の指示に従う。



#### ※ 待機解除の時期について

- ・市教委からの指示を受け，学校からメール，電話等で待機解除の連絡を行います。
- ・夜間，土・日，祝日，長期休業中等で，自宅にいる場合は，保護者の責任の下，市の広報無線の呼び掛けなどに従い，適切な対応をお願いいたします。